



市内の蜂場で蜂蜜を採集する様子

市内で採れるのはアカシアやクローバー、百花（ミツバチが多種類の花から集めた蜂蜜）の3種類。アカシアは爽やか、クローバーは濃厚と、花によって味が異なります。そのまま飲食したり、梅漬けに使うなど、用途はさまざまです。

8月3日は何の日でしょう？
 答えは、八と三つで蜂蜜の日。優しい甘さで健康にも良いと言われます。その蜂蜜を北広島市で作っている養蜂場があるのをご存じですか。
 大曲の荒井養蜂場は今年で創業75年。土幌町から北広島に移って42年です。ミツバチを放して蜜を集める蜂場が市内外に8カ所あります。うち4カ所は大曲など市内です。
 蜂蜜の採集から、製品化と販売まで家族3世代7人で行っています。ちょうど6月～8月は、道内で次々と花が咲き、1年のうちで最も忙しい時期。

定山溪の蜂場で採蜜する日は、早朝に出発します。遠心分離機で蜂蜜を取り出し、余分なごみなどを取り除き一斗缶に入れます。野外で防護服を着ての作業なので、暑い日は大変そうに思われますが！。
 「暑くても晴れてくれると助かります。寒くて雨が続き、花が落ちて、蜜が採れなくなりました。蜂も攻撃的になることがあるんですよ」と話すのは、総務担当の荒井賀奈子さん。ミツバチは花の季節が終わると、鹿児島県に運び、秋から春まで繁殖させます。
 社会見学で地域の小学生が店を見学に訪れることもあります。たくさん種類の花から蜂蜜が採れると知って、目を丸くするそう。



採集した蜂蜜を運び込みます。家族のチームワークは抜群

北広島市の自然から作られた蜂蜜。一度味わってみてはいかががでしょうか。
 とところで、今回の「北広島とつまみ」はちょうど88回。偶然にもハチづくしとなりました。



平和折鶴集会の様子

今年度の大曲東小学校児童会は、「笑顔で元氣よく、あいさつをする活動」「いろいろな学年と仲良くなる活動」「きれいで、みんなが気持ちよく生活できる活動」「ボランティア活動」を重点としています。
 「笑顔で元氣よく、あいさつをする活動」は生活委員会が「挨拶ミッション」を行い、「きれいで、みんなが気持ちよく生活できる活動」は美化委員会が「ゴミ拾いミッション」というように、各委員会がアイデアを出し協力し合っています。「いろいろな学年と仲良くなる活動」は、今年から縦割り掃除をすることになり、ほかの学年との交流が増えました。また、「平和折鶴集会」では、高学年が低学年に折り鶴の折り方を教える場面もあります。
 このほかにも、仲良し運動、運動ミッションなどの活動もあります。これからもいろいろな企画を通して、友達の輪が広がって、全校児童542人が力を合わせて笑顔で過ごせる学校にしていきたいと思えます。



北広島の草花で蜂蜜を作る 荒井養蜂場



まめ記者

542人の仲間
と共に



大曲東小学校 6年
室谷将太郎さん
(児童会長)